

⑩雨水流出対策について

(1) 目的

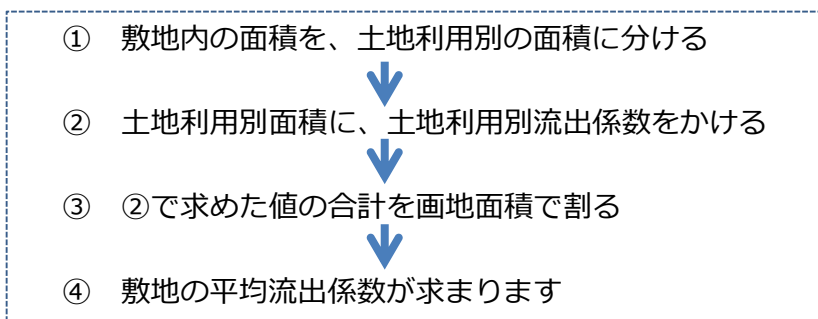
泉ゆめが丘地区土地区画整理事業地内では、環境に配慮したまちづくりの実現のために画地内の雨水の流出係数を0.85以内に抑制することを推奨しています。

【流出係数とは】

流出係数とは、地下に浸透や蒸発せずに排水される雨水の比率を表したもので、浸透しやすい庭や砂利などは低く、排水されやすい屋根やコンクリートなどは高くなっています。

(2) 流出係数の算定方法

流出係数の算定方法は以下の手順を行い算定を行います。



1) 敷地内の土地利用別面積を図面から計測する

例1)戸建の場合



建物(屋根)	90 m ²
コンクリート舗装	20 m ²
駐車場(As)	20 m ²
植栽等	20 m ²
総面積	150 m ²

例2)アパートの場合



建物(屋根)	300 m ²
コンクリート舗装	110 m ²
駐車場(As)	40 m ²
植栽等	50 m ²
総面積	500 m ²

2) 土地利用別流出係数

土地利用別流出係数は、日本下水道協会で提案されている値の中間値を使用。日本下水道協会の分類に無いものは近隣自治体等を参考に決めています。

下記の表にない分類は、類似した土地利用の値を使用して下さい。

土地利用種別	流出係数
建物の屋根	0.90
コンクリート舗装	0.95
アスファルト舗装	0.85
透水アスファルト舗装	0.70

土地利用種別	流出係数
浸透インターロッキング舗装	0.40
ダスト舗装	0.50
砂利	0.30
芝地、植栽	0.15

(3) 流出係数の算定シート（見本）

太枠の中に敷地の土地利用別面積をm2単位で御記入下さい。必ず合計が敷地面積になるようお願いします。

(例) P82記載の例 1戸建の場合の流出係数算定

*あなたの土地の敷地面積	<input type="text" value="150"/> m ²①
1.屋根	<input type="text" value="90"/> × 0.90 =	<input type="text" value="81.00"/>
2.コンクリート舗装	<input type="text" value="20"/> × 0.95 =	<input type="text" value="19.00"/>
3.アスファルト舗装	<input type="text" value="20"/> × 0.85 =	<input type="text" value="17.00"/>
4.透水アスファルト舗装	<input type="text"/> × 0.70 =	<input type="text"/>
5.浸透インターロッキング舗装	<input type="text"/> × 0.40 =	<input type="text"/>
6.ダスト舗装	<input type="text"/> × 0.50 =	<input type="text"/>
7.砂利	<input type="text"/> × 0.30 =	<input type="text"/>
8.芝地、植栽	<input type="text" value="20"/> × 0.15 =	<input type="text" value="3.00"/>
合 計	<input type="text" value="150"/> m ²	<input type="text" value="120.00"/>②
	*敷地面積と同じか 確認して下さい	

あなたの御宅の平均流出係数は $② \div ① =$ ③

③の値が0.85以下の場合

* 目標数値達成です。

③の値が0.85を超える場合

* 流出抑制が目標に達していません。
土地利用計画の見直しをお願いします。

* 貯留施設を設ける場合は、別途ご相談下さい。